

第1回石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業中間評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成27年 6月22日(月) 13:00～15:00

2. 場 所 経済産業省本館9階西8共用会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

内山 洋司 筑波大学大学院 名誉教授

※堤 敦司 東京大学 教授

藤井 俊英 電気事業連合会 技術開発部長

東嶋 和子 サイエンス・ジャーナリスト

村岡 元司 NTTデータ経営研究所 本部長パートナー

(研究開発実施者)

相曾 健司 大崎クールジェン株式会社 代表取締役副社長

千代延恭太 大崎クールジェン株式会社 取締役総務企画部長

椎屋 光昭 大崎クールジェン株式会社

総務企画部研究企画グループマネージャー

(事務局)

資源エネルギー庁資源・燃料部石炭課

課長 覚道 崇文

課長補佐(企画調整担当) 高木 悠一

課長補佐(技術担当) 榎本 宏

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

課長補佐 村田 博顕

4. 配布資料

資料1 石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業中間評価検討会委員名簿

資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について

資料3 経済産業省における研究開発評価について

資料4 評価方法(案)

資料5 石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業の概要

資料6 評価用資料(第1段階)

資料7 評価用資料(第2段階)

資料8 評価報告書の構成(案)

資料9 評価コメント票(第1段階用)

資料１０ 評価コメント票（第２段階用）

参考資料１ 経済産業省技術評価指針

参考資料２ 経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準

参考資料３ 石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業費補助金事前評価報告書

５．議事概要

（１）座長選出

委員の互選によって、堤 敦司委員が本検討会の座長に選出された。

（２）評価検討会の公開について

事務局から、資料２により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

（３）評価の方法等について

事務局から、資料３、４、８、９、１０により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

（４）研究開発プロジェクトの概要について

事務局及び実施者から、資料５により、石炭ガス化燃料電池複合発電実証事業の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ・ 本事業で採用した炉と海外のＩＧＣＣで採用している炉との比較について、専門家以外でも優位性が明確にわかるような資料を提供して欲しいとのコメントがあった。
- ・ 本事業で行う研究内容について、委員から質問があり、研究開発実施者から、現状の石炭火力発電所同様１～３％／分程度の負荷変化への対応については、研究計画に含めているとの回答があった。
- ・ 電力自由化や再生可能エネルギーの増加など、情勢の変化を本事業計画にどう反映したかとの質問があり、研究開発実施者から、このような状況を踏まえてもＩＧＣＣは今後ベースロード電源として期待されるので、研究を続けるべきと判断していると回答した。
- ・ ガス化炉との親和性の高い、バイオマス燃料の混焼について質問があり、研究開発実施者から、現時点では第１段階の目標である多炭種対応等を確認できる最低減の内容と期間としているため、バイオマス混焼を行う予定は無いが、課題等について、検討しておく必要があると回答した。

（５）今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成２７年７月６日とすることを確認した。また、第２回評価検討会を平成２７年７月１４日１０時から開催することとした。

以上